

[宮崎県社会福祉士会通信]

# みなみ風

<発行> 宮崎県社会福祉士会  
会長 松井 利博  
<事務局> 宮崎県社会福祉協議会  
事務局長 吉田 雅憲  
2008(平成20)4.25発行 / No.41

## 「三月総会報告」

一 出席者数 一三六名(うち委任状九三名) 定足数二二六名

二 議長 小倉 和也

三 協議

「第一号議案 規約の一部改正について」

「第二号議案 支部会費に関する規則の一部改正について」

関連する内容であることから、第一号議案と第二号議案については一括して協議することとし、会長が提案理由について説明を行い、質疑応答を行なった後、採決を行なったところ、原案どおり可決しました。

なお、支部会費に関する規則の一部改正に伴い、会費については、次のとおり取り扱うこととなりました。

正会員の年会費は四千元(現行三千元)

納入期限は毎年四月三十日まで  
「第三号議案 平成二十年度事業計画(案)について」

「第四号議案 平成二十年度一般

会計・特別会計予算(案)について」

関連する内容であることから、第三号議案と第四号議案については一括して協議することとし、第三号議案については会長が説明を行い、第四号議案については事務局長が説明を行い、質疑応答を行なった後、採決を行なったところ、原案どおり可決しました。

### 四 その他

総会の協議終了後、執行部より次の説明が行われました。

#### (一) 年会費について

平成二十年度の年会費については、四月二十五日(金)を予定日として、口座引落を行います。

現在、口座引落を希望していない方につきましては、四月三十日(木)までに指定口座へお納めくださいますようお願いいたします。

また、現在、口座引落を希望されていない方につきましては、

今後、可能な限り引落の手続きをとってくださいますようお願いいたします。

#### (二) 電子データでの情報伝達等について

今後、経費の節減等を目的に、これまでの紙ベースから、電子データでの情報の伝達に切り替えさせていただきますと考えています。自宅や職場で、専用のパソコン等でインターネットと電子メールが使用できる方につきましては、メールアドレス等の登録等にご協力ください。

#### (三) 連絡網等の整備について

様々な情報を迅速かつ確実に全ての会員に伝達するために、ブロックごとに連絡網を整備させていただきますと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

#### (四) 委員会活動等への参加について

新たに三つの委員会が設置されることに伴い、平成二十年度は、常設委員会と特別委員会が計十委員会となりました。

そこで、多くの会員に委員会等の活動に参加していただくため、改めて参加したい委員

会や活動内容等について調査を実施していただきますので、ご協力をお願いいたします。提出期限は四月二十五日(金)です。

**(五) 会員の加入促進について**

平成一九年度の新たな合格者を含め、同じ職場等に有資格者がいる場合は、加入の呼びかけに、ご協力ください。

また、社団法人日本社会福祉士会への入会手続きが済んでいない方につきましては、至急、加入手続きを行っていただきますようお願いいたします。

入会に必要な書類等が必要な場合は、県支部事務局、ブロック事務局または理事等の役員へご連絡ください。

本件に関する問い合わせ先

宮崎県社会福祉士会事務局

(担当：吉田雅憲)

〒八八〇・〇二二一

宮崎市佐土原町下田島四五五八番地一

社会福祉法人明照福祉会気付

TEL 〇九八五・七四・三七七七  
FAX 〇九八五・七四・〇五九八



ブロック会



議案協議



受付風景

# ブロック活動報告

## 県北ブロック

二月二日(土)に九州保健福祉大学で「医療制度・精神保健・地域包括支援センターの現状と課題について」をテーマに、第二回宮崎県社会福祉士会県北ブロック研修会を開催しました。会員専用ページでもお知らせしていますが、アンケート集計結果について要所だけをお知らせします。

事務局長 峰 豪紀

### 研修会の中で興味深かったこと

- ・ソーシャルワーカーのあり方や、今からの働きかけについて、地位の確立が必要ではないかと思いました。
  - ・発表者三者とも違った立場での話しであり、しかしその度に連携するという共通のテーマがあったので、良かったです。
  - ・様々な分野で活躍される社会福祉士の皆さんの実践事例は、実務の中におけるコンサルテーションで、非常に役立つと思います。
- 今後、このような企画をして欲しいと思われる研修内容など  
・スーパードバイズを受ける機会が、

欲しいと思います。

・今後このような研修では、公的機関から出席していただけたら、もっと詳細な実状について、学ぶことができたのではないかと思います。

・やはり、事例が聞きたい。現場の生の声が聞きたい。

・社会福祉士さん達が、必要と考える支援ネット(地域での)について。ソーシャルワーカー以外の職種の私たちが、どんな連携を取っていいけるのか？

### ご意見等ありましたら

「医療」と「福祉」の連携について以前二十年程、医療の現場で働いていました。地域医療との連携を数年前からうたわれていますが、医療側から見ると取っていると思っていたものの、「福祉」側から見れば取れていないんだなと実感しています。そこにソーシャルワーカーさんが存在すれば、スムーズに行くのであれば社会にとって、とても必要な職種だと思います。今までは、社会で見えないところで人々を支援するような感じがあるように思いますが、一歩前に出て、活躍して欲しいと思います。ソーシャルワーカーさんが、増えることを希望します。

## 県央ブロック

県央ブロックでは、四月五日（土曜日）のお昼過ぎから「交流会」を行いました。開催場所の宮崎市中央公園（宮崎駅近く）では満開の桜が咲き誇っており、その中のバーベキューはとても格別なものがありました。会員はもとより入会予定の非会員の方も集まり、小雨なんか気にならないくらい「美味しい！楽しい！嬉しい！」の雰囲気の中で、いろいろな情報交換ができました。

事務局長 大森孝志



## 県南ブロック

四月十九日（土）県南ブロック決算総会及び第一回ブロック研修会が開催されました。

総会では、十九年度の収支決算報告及び二十年度の会計処理のあり方について協議し、承認をいただきました。県南ブロックはこれまでも特別会計を設け、参加費等の管理を行ってきましたが、県支部における会計処理のあり方に基づいて確認を行うとともに、今後の県南ブロックの会計処理のあり方を協議したところです。

なお、県南ブロックでは、今回の総会を実施するにあたり、ペーパーレス化に向けたアンケートを実施しました。あわせて隔月ごとに実施している研修会においても主に委員会が研修を企画していることから次回六月に予定している「権利擁護」に関する研修内容についてもアンケートを実施しました。

また、後半には第一回ブロック研修会を行い、講師に戸高詩織氏（心理士）をお招きし、「発達障害について」講演をいただきました。ここ数年のうちにクローズアップされた障害でもあることから会員の意識は高く、ソーシャルワーク

を展開するうえで必要な援助技術等について活発な質疑が飛び交いました。

二十年度がスタートしました。今後も活発な活動が展開できますようご協力をお願いします。

事務局長 田村真一郎

## 委員会活動報告

### ☆広報委員会



県福祉総合センターで打合せ

「みなみ風」四二号の発行について、県士会ホームページの状況確認、年間計画の確認と役割分担について話し合いました。

## ☆研修委員会

二月と四月に研修委員会を行なっています。議題は、十九年度の反省、研修委員会が二十年度に計画している研修についての確認と、（社）日本社会福祉士会における「生涯研修制度」についての勉強会、研修についての役割分担などでした。二十年度は基礎研修のほかに、六領域の中の福祉権利、対人援助について研修を計画しています。自身のスキルアップにつながると思いますので、ぜひご参加くださいね！「生涯研修制度」は、日本社会福祉士会会員が、個人の自己研鑽の継続性を確保すること、また研修を通じて会員相互の連携を図ることによって、援助を必要とする人の生活と権利の擁護を担う社会福祉士の力量を常に向上させていくことを目的とした制度です。新会員においては基礎研修時にご説明しますが、詳しい内容については入会時に送られてくる社会福祉士生涯研修手帳に載っていますので、ぜひご覧ください。



# お知らせ

## 定期総会及び基礎研修等の開催について

平成二十年度の第一回定期総会を開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご参加ください。  
日時：平成二十年六月一日(日) 十三時三十分～十七時

会場：宮崎市中央公民館  
内容(予定)

基礎研修(十三時三十分～十四時三十分)

総会(十四時四十分～十五時三十分)

- ・ 事業報告
- ・ 決算報告
- ・ 事業計画(補足)
- ・ 補正予算について

特別研修(十五時四十分～十七時)  
「(社会福祉士のソーシャルワーク実践)」

### 総会の議決権について

規約第十六条第三項の規程により前年度会費未納者(今年度新入会員を含む)は、総会の議決権がありませんので、ご注意ください。

## 「会員専用」ページが変わりました



問い合わせ  
宮崎県社会福祉士会事務局  
(担当：吉田雅憲)  
〒八八〇・〇二二二  
宮崎市佐土原町下田島  
四五五八番地二  
社会福祉法人明照福祉会気付



## 編集後記

あっという間に一年が過ぎ、広報委員会担当が二年目となりました。昨年は念願のホームページ開設することができたことは大きな収穫となりましたが、これはえらいものを引き受けました。というのは、血の通った生き物のようにつこめくからです。

現在のところ一般ページ会員ページとも順調に更新されていますが、広報委員会ではもっともっとホームページを見ていただいたためにはどうしたらよいかただいま思案中です。宮崎県社会福祉士会の活動等を効果的にアピールしていくにはどうしたらよいか課題も多くありますが、今年度も心血注ぐ覚悟です。ホームページは生きています。どうぞ会員の皆さんで血を注いでください。

広報委員会担当理事

黒木 幹雄

### 「みなみ風」No41

「宮崎県社会福祉士会通信」

会員のみなさまからの情報をお

待ちしております